

各位

和歌山けやき大通りイルミネーション実行委員会

委員長 古澤良祐（株式会社タカショーデジテック代表取締役社長）

和歌山けやき大通りイルミ、160万球のLEDでギネス世界記録™に挑戦

11月21日の点灯式で審査を実施、点灯時間は午前零時まで延長



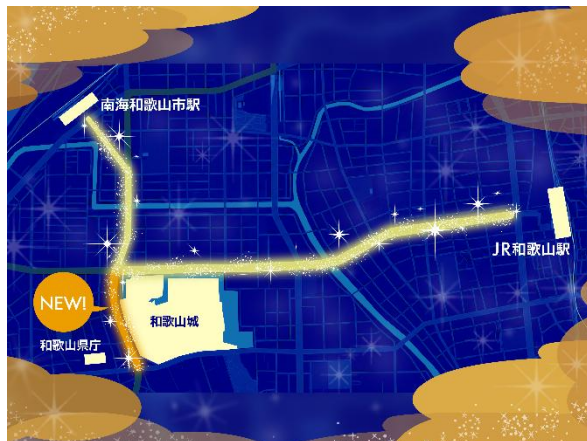
和歌山市の冬を彩る「KEYAKI Light Parade by FeStA LuCe」が「街路イルミネーションで使われたLEDライト球の最多数」（英語名はMost LED light units in a street illumination）のカテゴリーでギネス世界記録™に挑戦します。けやきライトパレードは開催4年目を迎え、JR和歌山駅から和歌山城を経て南海和歌山市駅、和歌山県庁に向かう約3.5kmにわたる街路樹約500本に約160万球のLEDを灯します。開催初日の2026年11月21日（土）に点灯状況の審査が行われ、認定となった場合は、ギネス世界記録™の公式認定証授与式を実施します。また同日は、けやき大通りの一部が歩行者天国となるほか、和歌山県最大規模となる1000機の和歌山城ドローンショー「WAKAYAMA LIGHTS 2026」も開催される予定です。

けやきライトパレードは、道路に連続的に取り付けられるLEDの球数として、2024年より日本一のイルミネーションストリート※となりました。今回は和歌山市役所前から和歌山城の西側となる和歌山県庁前までの約500mを延長、前回の街路樹435本、LED130万球からスケールアップしてギネス世界記録™に挑戦します。ギネス世界記録™認定により、和歌山の街を彩る光のスケールを世界に向けて発信するとともに、この挑戦・達成を通じて、地域への誇りや愛着、一体感を高めることを目指します。今回のけやきライトパレードは11月21日（土）から2027年2月28

日（日）までの100日間開催されます。実施時間は当初、前回と同じ午後5時～11時の予定でしたが、1時間延長して午前零時までとします。

前回のけやきライトパレードは169社の協賛、209店舗の協力のもと開催するとともに「和歌山城～光の回廊～」 「WAKAYAMA LIGHTS 2025」 「日本あかり博×けやきライトパレードby FeSt A LuCe」 など、市内で開催された光のイベントと連携しました。和歌山大学経済学部足立基浩教授の研究室によると、開催前の通常時と比べ来訪者が約12万4000人増え、13億7000万円の経済波及効果を生みだしました。今回のけやきライトパレードは実施時間の延長に加え、10月31日～2月14日開催の和歌山マリーナシティ「フェスタ・ルーチェ」、10月24日～3月31日開催のアドベンチャーワールド「LIGHT PARKS®」など県内各地で展開される光の取り組みとも連携し、和歌山全体で光による観光振興と地域のにぎわい創出を進めます。

※和歌山けやき大通りイルミネーション実行委員会調べ（2024年11月、2025年10月調査）



（写真左「けやきライトパレード2026」の開催ルート、右：点灯式の様子）



**OFFICIAL
CHALLENGE**

（ご参考）

【和歌山けやき大通りイルミネーション実行委員会の概要】

- ・実行委員長＝古澤 良祐（株式会社タカショーデジテック代表取締役社長）
- ・事務局＝和歌山市栄谷151番地（テレビ和歌山内）

【本件の問い合わせ先】

和歌山けやき大通りイルミネーション実行委員会事務局 岩橋

電話＝073-455-5721

FAX＝073-452-7380

Email＝ info@keyaki-light-parade.jp

※点灯式当日、ギネス世界記録™公式認定員らへの取材を希望される場合は、11月19日（木）までに事務局までご連絡くださるようお願いします。

以上